令和元年度 第2回菊川市男女共同参画推進懇話会 報告書

年月日	令和2年2月5日(水)	場	所	菊川市役所 2 階庁議室 18:30~20:00
	(1) 第3次菊川市男女共同参画プランにおける指標の最終目標見直しについて			
検討事項	(2) 令和元年度男女共同参画事業実施報告について			
	(3) 令和2年度男女共同参画事業実施予定について			

(1) 第3次菊川市男女共同参画プランにおける指標の最終目標見直し…資料1

【事務局】第3次菊川市男女共同参画プランにおける指標の最終目標見直しについて説明。

<委員からの質疑>

- ・目標値に小数点第一位まで記載されているが、丸めて整数にしたらどうか
- → 【事務局】目標の見直しに当たって、それぞれの項目において根拠のある数字を目標値としたため、 小数点第一位まで記載している。
- ・防災講演会について、女性の出席率を上げるのは目標として良いことだと思うが、男性が出席し、女性目線が必要だと学ぶことも重要と考える。
- → 【事務局】男性は意見を話し合う場が多くある現状、バランス良く女性に参加いただくことも必要と 考えるため、目標としてはこの数字としたい。

(2) 令和元年度男女共同参画事業実施報告…資料2-1~2-8

【事務局】男女共同参画ファミリーフェスタ、小学生への職業講話、園児への絵本読み聞かせ、地域に おける女性の防災講演会、ワーク・ライフ・バランス講演会、男女共同参画庁内啓発活動、男女共同 参画に関する事業所アンケート及びあざれあ地域協働事業について説明。

<委員からの意見>

- ・ワーク・ライフ・バランス講演会の来場者アンケートについて、「帰宅後、妻がどうしたいか確認して みる。」との回答があった。参加しただけでなく、自分のものとして位置付けられているので、良い講 演会だったのだと思う。
- ・企業アンケートの回答率が低い。回答率を上げるために、設問を易しくしてはどうか。また、回答が ない企業は、男女共同参画の意識が低い可能性がある。
- →【事務局】全ての設問の必要性を精査し、検討する。
- ・男女共同参画ファミリーフェスタに家族での参加が多くなっているように感じる。毎年続けることが 重要である。来年度もわくわくする企画を考えてもらいたい。
- →【事務局】ファミリーフェスタは、第3次男女共同参画プランの策定記念として、3年間の実施を目途に計画したものである。来年度は、危機管理課の防災フェアに参加するなど、別の方法で啓発を行う。
- ・小学生への職業講話の講師が8名と、事業開始当初より増えている。講師は市内在住の方が多いか。
- →【事務局】市内の方が多い。今年度から新たに警察官としずてつジャストラインの運転手に講師をお願いした。また、企業アンケートにおいて講師の派遣に協力してもらえるとの回答があり、講師をお願いした方もいる。

- ・ワーク・ライフ・バランス講演会は事前申込制を取っていたが、定員 150 名に対して 90 名が来場した。 申込の締切日前には定員に達しないことが判明していたと思われるが、来場者を増やす工夫を何か行ったか。
- →【事務局】広報には、広報きくがわ、ホームページ、Facebook、チラシ、茶こちゃんメールを用いたが、全ての方法のタイミングをずらし、市民の方の目につく機会を増やした。結果、茶こちゃんメールで来場された方が多くあり、効果があったものと思う。

(3) 令和2年度男女共同参画事業実施予定

【事務局】令和2年度男女共同参画事業実施予定について説明。

<委員からの意見>

- ・各部署のイベントに参加するなど、周りを巻き込んで事業を実施していただきたい。
- →【事務局】男女共同参画担当の職員数に限りがあるため、他課のイベントに積極的に参加する。
- ・ファミリーフェスタは多くの方が来場している。児童館での実施など、継続的に何か実施することで 男女共同参画を継続的に意識することにつながるのではないか。
- →【事務局】夏休みに図書館が実施するイベントなどに参加し、啓発を図っていく。
- ・10年前と比較すると男女共同参画は進んでいる。
- →【事務局】今年度、遠州夢咲農協が男女共同参画に関する知事褒賞を受賞した。今後も様々な啓発を 行い、男女共同参画を進めたい。

(4) 講評 (跡部アドバイザー)

- ジェンダーを構成する要素について
- ジェンダー規範と性自認について
- ・ジェンダーバイアス、フォビアについて
- ・クローズド、アウティングについて

(5) その他

- ・第3次プラン最終目標の差替えについて
- ・令和元年度第2回防災講座について
- ・菊川市男性職員の育児休業取得について
- ・令和2年度第1回懇話会日程について